

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成24年 1月

(平成23年12月末調査)

平成24年 1月26日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【11月】	諏訪公共職業安定所管内	0.79倍	+0.13ポイント
手形交換高【12月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	6,738枚	△403枚
	金 額	8,474百万円	+45百万円
	うち不渡り	0枚	△3枚
	発生状況	0千円	△7,698千円
電力使用量【12月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	58,411MWh	△3.3%
	高压電力計	96,090MWh	△7.6%
	合 計	154,501MWh	△6.0%
車庫証明取扱件数【12月】(諏訪地方合計)		773件	+9.8%
新設住宅着工戸数【H23.4月～11月】(諏訪管内)		771戸	+13.5%

□本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

●製造業

自動車部品関連の下請企業の受注動向は比較的安定している企業が多いものの、コストダウン要請の強まりや親会社の海外調達比率の上昇が懸念されている。工作機械などの産業設備関連では、日系メーカーの海外工場向けなどは安定しているが新興国メーカーとの価格競争がきかれる。また、デジタル一眼レフカメラの下請企業の受注状況は、親会社により区々となっており、比較的堅調な企業があるものの大幅に減少している企業もみられる。

地域製造業全体では、ドルに加え対ユーロの急激な円高進行の影響等から各業界ともコストダウン要請の強まりがきかれるなど、収益面でも厳しい環境が続いている。

●商業

諏訪地方の12月の天候は、月の後半に強い寒気が南下するなど、冬型の気圧配置が強まり月の平均気温は平年より低くなった。

厳しい冷え込みから冬物衣料の動きは総体的に好調で、防寒グッズではネックウォーマーや機能性肌着の売れ行きが伸びた。また、食料品ではレタスやキャベツなどの葉物野菜の価格が高止まりしたものの、鍋物食材等が堅調で前年並みの売上の店舗が多くなっている。

また、諏訪地方の12月の車庫証明件数は773台と前年同月比+69台(+9.8%)の増加となった。なお、平成23年の自動車販売は前年のエコカー補助金の反動と東日本大震災による新車の供給不足などから長野県全体で約93千台と、記録が残る平成元年以降最少となったものの、平成24年はエコカー補助金の復活と次世代エコカーの発売などから販売台数の反転が期待されている。

●観光業・サービス業

上諏訪温泉の12月の宿泊客数は大型の施設などで一昨年の「信州ディステーションキャンペーン」の反動がきかれ、総体では前年に比べ10%程度減少した。また、高原の観光地の宿泊者数は前年並みを維持しているものの、地域のスキー場への入り込み客は幾分弱含んでいる模様。

また、諏訪大社（上社・下社合算）の12月の参拝者数は約34千人と御柱年の昨年と比べ約+1千人、一昨年に比べては約+10千人の増加となっている。なお、二年参りを含む正月三が日の参拝者数は約35万3千人と、天候に恵まれ昨年を約+1万6千人上回った。

飲食店を含めた忘年会の状況は、平日の集客が悪かった店舗が多く、またグループの小規模化や低予算化なども含め厳しい状況がきかれる。

●建設業

市町村の12月の発注工事は、建築工事6件、土木工事及び下水道工事33件、その他工事14件の合計53件290百万円で、前年同月比で件数は+15件、契約金額は+91百万円の増加となった。県関係の12月の公共工事（地元業者受注分）は26件329百万円、また平成23年4月～12月の累計契約は152件2,989百万円と前年同期累計比で件数は△3件、契約金額は△630百万円の減少となった。

民間工事は、諏訪地方の11月の新設住宅着工戸数は76戸で前年同月比+3戸（+4.1%）の増加となった。また、平成23年4月～11月の年度累計は771戸で前年同期累計に比べ+92戸（+13.5%）の増加となっている。平成22年度は平成になって初めて年間着工戸数が千戸を下回ったが、平成23年度は僅かではあるが昨年水準を上回っており千戸台を回復するか注目されている。

●雇用

諏訪地域の11月の有効求人倍率は、前年同月を+0.13ポイント上回り0.79倍となった。前年同月比ではプラスを維持しているものの、10月の同倍率0.81倍を△0.02ポイント下回るなど前月比は6ヶ月ぶりにマイナスとなった。また、全国と同倍率は0.69倍、長野県と同倍率は0.76倍となっている。

諏訪地域の11月の新規求人（全数）は1,285人で前年同月比+186人（+16.9%）の増加、新規求職者数は1,061人で前年同月比△14人（△1.3%）の減少となっている。産業別の前年同月比の新規求人数は、派遣業が+93.0%、金属製品が+81.8%、建設業が+60.5%それぞれ増加した。なお、11月の1件10人以上の人員整理は0件、事業主都合による雇用保険資格喪失者は74人で前年同月に比べ△5人減少、前月より+3人増加した。

平成23年11月末時点での今春卒業予定者の就職内定率は、高校卒（南信ブロック）が前年比+0.8ポイントの85.0%、県内大学卒等（全県）は前年比+5.0ポイントの58.8%となっている。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	企業により区々であるが、円高の影響から受注の減少がきかれる。
プリンター	下請企業の足元の受注は弱含んでおり、先行きも在庫調整等から受注減少の予想がきかれる。
コンタクター・リレー	足元の受注状況は堅調である。

2. 輸送用機械

自動車	下請企業の受注動向は比較的安定している企業が多いが、コストダウン要請の強まりや親会社の海外調達比率の上昇が懸念されている。
ピストンリング・シリンダーライナー	円高の影響も一部にきかれるが、アジア向けが堅調で受注は横這いの状況である。
船外機	アジア向け機種を受注が引き続き好調で、高水準の生産が続いている。

3. 一般機械

工作機械・専用機	日系メーカーの海外工場向けなどは安定しているが、新興国メーカーとの価格競争の激化がきかれる。
搬送用機械	概ね安定した受注となっている。
金型	総体の受注水準は横這い圏内である。一部にタイの洪水による国内回帰の動きから、受注が増加した企業もみられる。
ダイカスト	受注状況は企業により区々となっている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの11月の生産台数は731万台で前月比△40.6%減少、前年同月比△40.9%減少となった。11月の出荷台数は国内出荷73万台、海外出荷745万台の合計819万台で出荷台数全体では前月比△36.5%減少、前年同月比△35.3%減少となっている。 デジタル一眼レフカメラの下請企業の受注状況は親会社により区々となっており、比較的堅調な企業があるものの大幅に減少している企業もみられる。
レンズ	受注は堅調であるが、円高の影響から価格競争が激しくなっている。

5. 織 維

ニット

春物の量産に入っているが、原材料価格の高止まりから収益性の低下がきかれる。

6. 食 品

寒天

12月に入り今季の生産が始まった。天候に恵まれ、生産は順調で品質も良好である。

味噌

出荷は平年並みである。

7. 製 材

諏訪地方の11月の木造住宅着工戸数は67戸で、前年同月に比べ+3戸の増加となった。

8. 建 設

公共工事

12月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所17件、林道治山工事関係5件、農地整備課2件、その他工事2件の合計26件、契約金額329百万円となった。また、平成23年4月～12月の累計契約は152件2,989百万円と前年同期累計比で件数は△3件、契約金額は△630百万円の減少となった。

市町村の12月の発注工事は、建築工事6件22百万円、土木工事及び下水道工事33件199百万円、その他工事14件68百万円の合計53件290百万円で、前年同月比で件数は+15件、契約金額は+91百万円の増加となった。

民間工事

諏訪地方の11月の新設住宅着工戸数は76戸で前年同月比では+3戸(+4.1%)の増加となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は△1戸減少の68戸、「貸家」は△1戸減少の2戸、「給与」は+1戸増加の1戸、「分譲」は+4戸増加の5戸となった。平成23年4月～11月の年度累計は771戸で前年同期累計に比べ+92戸(+13.5%)の増加となっている。

また、長野県内の11月の新設住宅着工戸数は917戸で、前年同月比△14.5%の減少となっている。なお、前年同月比の利用関係別では「持家」が647戸で△9.9%減少、「貸家」が154戸で△38.6%減少、「分譲」が114戸で+10.7%増加となった。

9. 商 業

諏訪地方の12月の天候は、月の後半に強い寒気が南下するなど、冬型の気圧配置が強まり月の平均気温は平年より低くなった。

厳しい冷え込みから冬物衣料の動きは良かったものの、葉物野菜の高値が続くなど天候の影響が各所にきかれた。また、平成23年の自動車販売は前年のエコカー補助金の反動と東日本大震災による新車の供給不足などから長野県全体で約93千台と、記録が残る平成元年以降最少となったものの、平成24年はエコカー補助金の復活と次世代エコカーの発売などから販売台数の反転が期待されている。

衣料	厳しい冷え込みから冬物衣料の動きは総体的に好調で、防寒グッズではネックウォーマーや機能性肌着の売れ行きが伸びた。
食料品	レタスやキャベツなどの葉物野菜の価格が高止まりしたものの、鍋物食材等が堅調で前年並みの売上の店舗が多くなっている。
家電製品	スマートフォンや節電家電等の動きは良好であるが、薄型テレビの落ち込みにより売上高の減少は続いている。
自動車	諏訪地方の12月の車庫証明件数（軽自動車除く）は773台と前年同月比+69台（+9.8%）の増加となった。
ホームセンター	年末商材や季節商材の動きは堅調である。

10. 観 光

諏訪地域の12月の入り込み客数は一昨年の「信州ディスティネーションキャンペーン」の反動がきかれるものの、諏訪大社の参拝者数は御柱年の昨年に比べ約+1千人、一昨年に比べては約+10千人増加するなど基調としては堅調に推移した。

飲食店を含めた忘年会の状況は、平日の集客が悪かった店舗が多く、またグループの小規模化や低予算化なども含め厳しい状況がきかれる。

上諏訪温泉	大型の施設などで一昨年の「信州ディスティネーションキャンペーン」の反動がきかれ、総体の宿泊者数は前年に比べ10%程度減少した。
蓼科・白樺湖・車山等	宿泊者数は前年並みを維持しているものの、スキー場への入り込み客は幾分弱含んでいる模様。
下諏訪温泉	クリスマスの連休効果もあり、前年同月と比べた宿泊者数は増加した施設が多い。
諏訪大社	上社・下社合わせた12月の参拝者数は約34千人と御柱年の昨年に比べ約+1千人、一昨年に比べては約+10千人の増加となっている。 また、天候に恵まれた正月三が日（二年参りを含む）の参拝者数は35万3千5百人と昨年を+1万6千人上回った。

トピックス

社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）のご協力をいただき、2012年の「電子工業の国内生産見通し」（2011年12月発表）を掲載いたしました。

－電子工業の国内生産見通し－

電子工業における2011年の国内生産額は、13兆8,279億円（対前年10%減）と2年ぶりのマイナス成長を見込んだ。東日本大震災でのサプライチェーンの寸断による生産減から早期に回復したものの、歴史的な円高水準と海外での景気不振は輸出を足踏みさせ国内生産にも影響を与えた。2012年では13兆7,721億円（同横ばい）を見通したが、国内生産を取り巻く環境は厳しいことが予想される。

国内経済は依然厳しい環境にある。3月の東日本大震災により、多くの工場が被災した。中でも電子部品、電子材料や半導体工場の被災によるサプライチェーンの寸断は、自動車や電子機器の生産にも影響を与えた。しかしながら、復旧は当初の予想を上回るスピードで行われ国内生産体制は急速に回復した。一方で、7月の地上デジタル放送完全移行（東北3県除く）後の反動で薄型テレビ生産は大きく減少、さらに歴史的な円高の継続が痛手となり電子部品・デバイスの輸出の回復が遅れた。加えて欧州債務問題からの海外経済減速、10月のタイでの洪水が影響し、国内生産回復の足取りは鈍化した。電子工業における2011年の国内生産額は対前年10%減と二桁の大幅なマイナスを見込んだ。

2012年も国内生産を取り巻く環境は厳しいことが予想される。円高が今後さらに続けば、海外生産・海外への生産委託は、さらに加速することが見込まれる。国内生産は大きな岐路に立たされており、国内立地のための施策が望まれる。また、再生可能エネルギー特別措置法成立による新エネルギー関連投資や、震災対応IT投資にも期待がかかる。マイナス要因が目立つ国内生産にあっても半導体設備投資の回復を受けた電気計測器（対前年5%増）、自動車の電装化やスマートフォン・タブレット端末の需要拡大を受けた半導体（同4%増）、健康・ヘルスケアニーズの高まりを受けた医用電子機器（同4%増）のプラス成長が見込めることから、電子工業における2012年の国内生産額は横ばい、日系企業の国内生産比率は38%と見通した。「ディスプレイデバイス」（日系国内生産比率85%）、「電気計測器」（同78%）、「サーバ・ストレージ」（同74%）、「医用電子機器」（同73%）、「半導体」（同70%）など、高度な信頼性や品質を要求される分野では、高い国内生産水準が維持される。